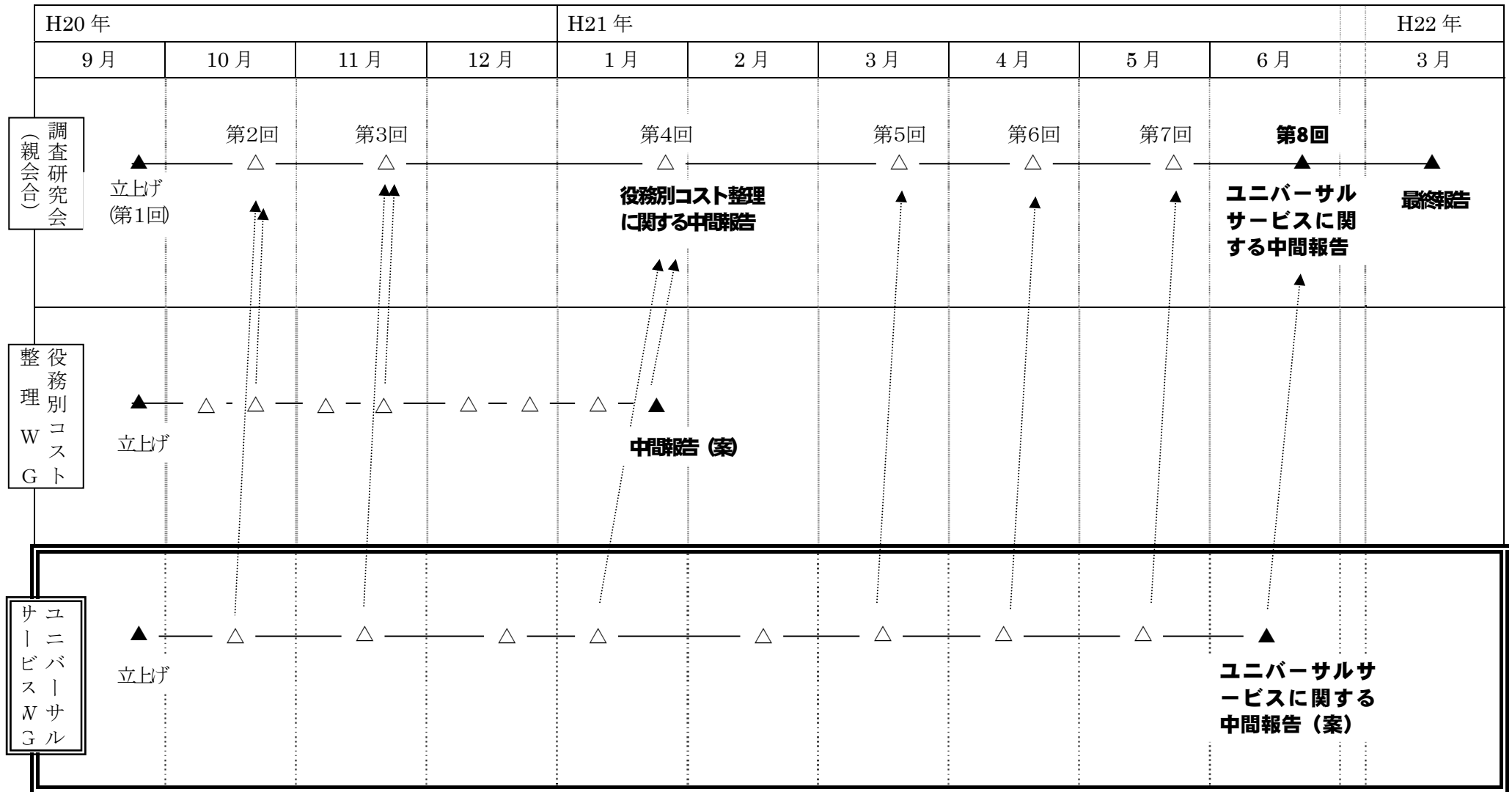


資料 6

今後の進め方（案）



ユニバーサルサービスに関するワーキンググループの当面の 進め方

第1回(20年10月1日)

- ① 郵便・信書便制度及び事業の現状
- ② 郵便のユニバーサルサービスの範囲及び水準
- ③ 今後の進め方

第2回(20年10月下旬)

- ① 局別損益（郵便事業株式会社）
- ② ユニバーサルサービス確保方策（基金、税制、補助金等）の個別検討①
 - ・他事業、外国の例

→ 第1回及び第2回の開催状況を親会合に報告

親会合とユニバWGの合同会合として、消費者団体等からヒアリングを行う。

第3回(20年11月中旬)

- ① ユニバーサルサービス確保方策（基金、税制、補助金等）の個別検討②
 - ・郵便事業への適用の可能性
- ② 社会貢献基金との関係の整理

→ 第3回の開催状況を親会合に報告

第4回(20年12月中旬)

- ユニバーサルサービスコストの算定方法の検討①
 - ・算定方式の比較検討（「NAC法」、「ベンチマーク方式」等）
 - ・ユニバーサルサービス提供の便益

第5回(21年1月中旬)

○ ユニバーサルサービスコストの算定方法の検討②

- ・ 諸外国の動向
- ・ ユニバーサルサービスコストの算定単位

→ 第4回及び第5回の開催状況を親会合に報告

第6回(21年2月中旬)

① 役務別コスト整理のあり方に関する検討結果の説明

② ユニバーサルサービスコストの算定方法の検討③

- ・ 事業者の効率性の確保
- ・ コスト算定に必要なデータ（検討の進め方）

第7回(21年3月上旬)

○ ユニバーサルサービスコストの算定方法の検討④

- ・ コスト負担事業者の範囲
- ・ 稼働時期
- ・ 論点整理

→ 第6回及び第7回の開催状況を親会合に報告

第8回(21年4月中旬)

○ ユニバーサルサービスコストの算定に必要なデータの検討

→ 第8回の開催状況を親会合に報告

第9回(21年5月中旬)

○ 中間取りまとめに向けた論点整理

→ 第9回の開催状況を親会合に報告

第10回(21年6月上旬)

○ 中間取りまとめ（案）

→ 第10回の開催状況及び報告書案を親会合に報告

(参考)

役務別コスト整理のあり方ワーキンググループの進め方

第1回(20年9月下旬)

- ① 研究会の基本認識の共有
- ② 現行郵便制度等の情報共有
- ③ 会計分離を巡る議論
- ④ 現行の郵便事業株式会社の会計制度の問題点の洗い出し

第2回(20年10月上旬)

- ① 公益事業の会計分離の例の情報共有
- ② 目的内業務と目的外業務との間の内部相互補助の検証方法

第3回(20年10月中旬)

- ① 郵便事業株式会社の会計の現状の情報共有
 - ② 会計整理の方法の透明化・適正性を確保する方策
- 第1回から第3回までの開催状況を親会合に報告

第4回(20年11月上旬)

- ① 会計分離を目的として公益事業で採用しているドライバーの情報共有
- ② 適正なドライバーの検討
- ③ 理論的なドライバーの設定
- ④ 資産の分計方法

第5回(20年11月下旬)

- 郵便業務の適正利潤
- 第4回及び第5回の開催状況を親会合に報告

第6回(20年12月上旬)

- 財務会計データのディスクローズの考え方

第7回(20年12月中旬)

- 財務会計データのディスクロースの考え方

第8回(21年1月中旬)

- 会計整理の方法の透明化のための考え方

第9回(21年1月下旬)

- 報告書（案）
→ 第6回から第9回までの開催状況及び報告書案を親会合に報告

(注)第2回以降の会合においては、その前回の会合における議論の整理を行う。